

EnSight 補足資料

既読データの EnSight形式への出力手順

サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

1.はじめに

2.出力パネルの表示

3.出力変数のアクティブ化

4.出力パートの選択

5.出力の実行

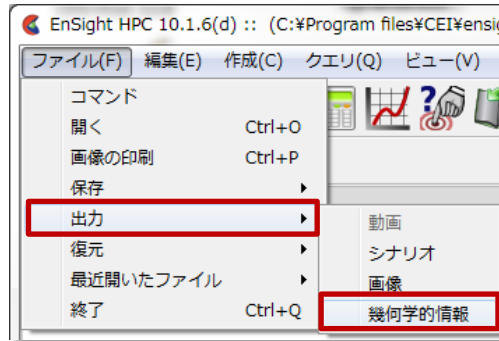
EnSightで読み込まれた様々な形式のデータを、EnSight形式(EnSight Case Gold)で出力することが可能です。

EnSight形式を利用することで、データI/Oの高速化、計算コスト、メモリ使用量の軽減など様々な恩恵を受けることができます。

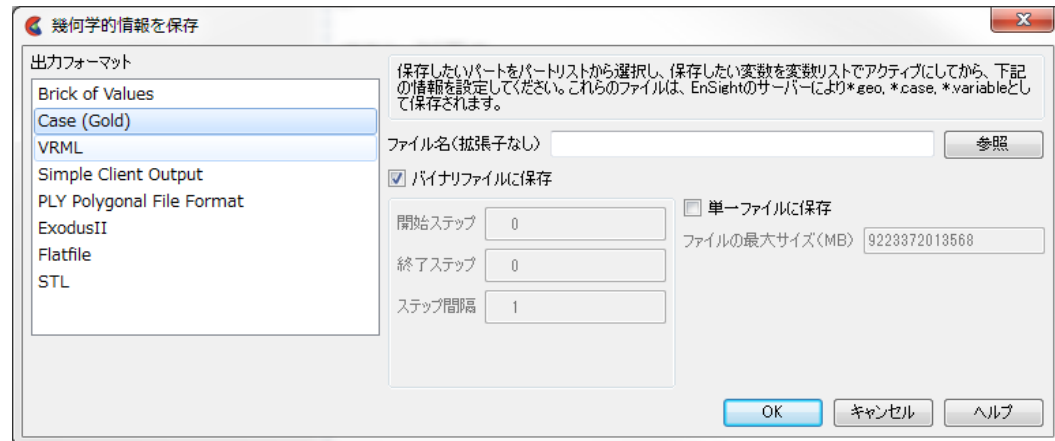
以下では、EnSightに読み込まれているデータをEnSight形式に出力する具体的な手順をご紹介します。

- 1.はじめに
- 2.保存パネルの表示
- 3.出力変数のアクティブ化
- 4.出力パートの選択
- 5.出力の実行

データを読み込んだ状態で、メインメニュー [出力(Export)] > [幾何学的情報(geometric entities...)]を選択します。



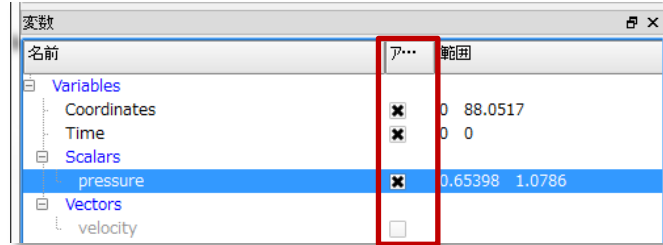
[幾何学的情報を保存]パネルが表示されます。



- 1.はじめに
- 2.出力パネルの表示
- 3.出力変数のアクティブ化
- 4.出力部分の選択
- 5.出力の実行

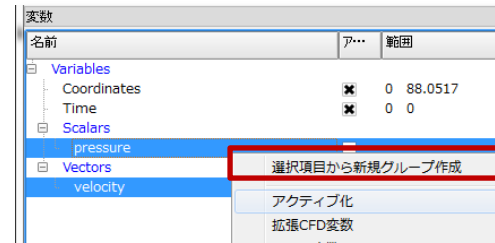
出力対象の変数を、予めロードしておく必要があります。

[変数]リストで、出力対象の各変数項目のアクティブ化トグルをチェックすることでロードすることが可能です。



全ての変数をアクティブ化するには？

- 変数をCtrlキーを押しながら複数選択し、右クリックメニューから[アクティブ化]を選択します。



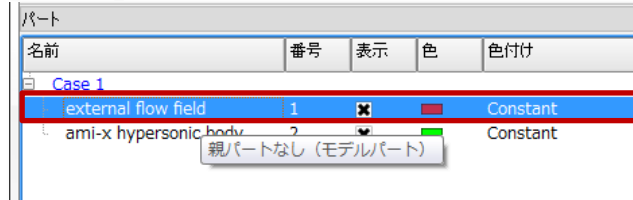
- または、以下のコマンドを実行します。

```
variables: activate_all
```

- 1.はじめに
- 2.出力パネルの表示
- 3.出力変数のアクティブ化
- 4.出力パートの選択
- 5.出力の実行

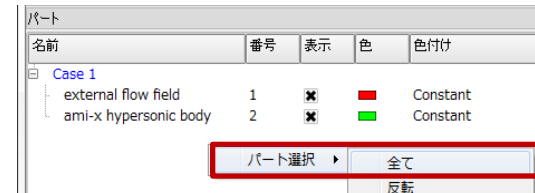
出力対象のパートを、予め選択しておく必要があります。

[パート]リストで、出力対象のパートを選択します。



全てのパートを選択するには?

- [パート]リストのケース(たとえば"Case1")をクリックします。これにより、ケース配下のパートが全選択されます。
- または、[パート]リストの空欄上で右クリックメニューから[全て]を選択します。



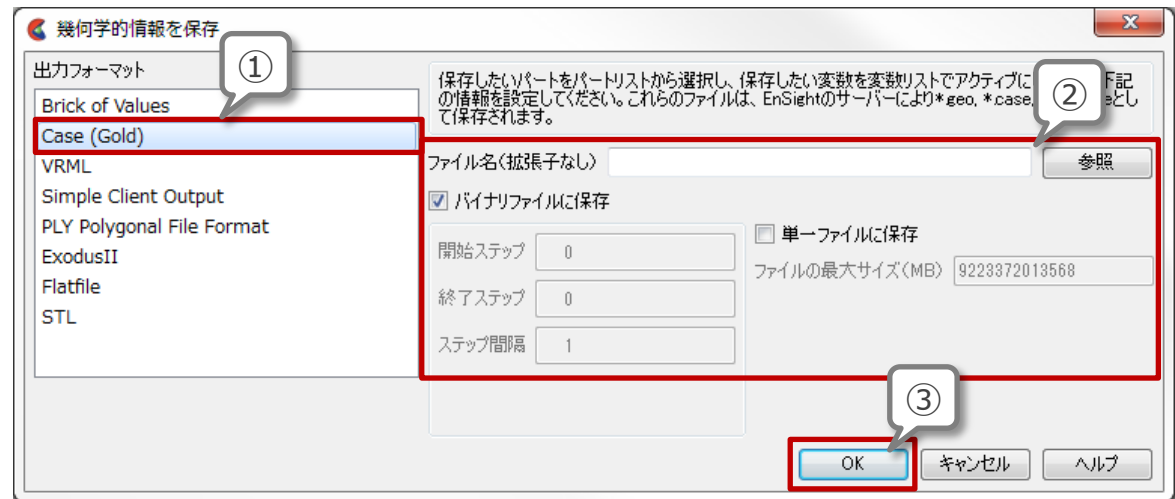
- はたは、以下のコマンドを実行します。

```
part: select_all
```

- 1.はじめに
- 2.出力パネルの表示
- 3.出力変数のアクティブ化
- 4.出力パートの選択
- 5.出力の実行

[幾何学的情報を保存]パネルで、フォーマット、ファイルパス、その他オプションを設定してCase Goldの出力を実行します。

- ① 出力フォーマットで“Case (Gold)”を選択します。
- ② [ファイル名(拡張子なし)]でファイルパス、その他オプションを設定します。
オプション：
 - ・バイナリファイルに保存(デフォルト：バイナリ)
 - ・単一ファイルに保存
- ③ [OK]ボタンを押下します。



以上で、指定されたパスに.caseを始めとしたEnSightフォーマットのファイルが出力されます。

ご利用上の注意：

本書中の解説、及び、図、表は文書による許可なしに、その全体または一部を無断で使用、複製することはできません。

このドキュメントに記載されている事柄は、将来予告無しに変更される事があります。なお、サイバネットでは記載内容に関して正確であることに努めていますが、本書の利用に関して生じた損害については法律上のいかなる責任も負いません。

EnSight は米国 CEI 社の商標です。
上記以外の製品名も一般に開発各社の商標、あるいは登録商標です。

サイバネットシステム株式会社